

石神井図書館 図書館利用者懇談会

- 1 日時 令和4年11月1日(火) 10時00分～11時30分
- 2 場所 石神井図書館 2階会議室
- 3 参加者 利用者12名 図書館4名(石神井図書館長、館長代理3名)
- 4 テーマ 「地域とのつながりから石神井図書館を考える～これからの図書館サービスについて」

5 配布資料

- ① 次第
- ② 『練馬区立図書館ビジョン 概要』・1枚
- ③ これからの図書館構想の概要
- ④ 昨年の利用者懇談会以後のイベント一覧
- ⑤ 石神井ゆかりの作家パスファインダー
- ⑥ ちひろ美術館・練馬美術館・石神井図書館・貫井図書館・南田中図書館
「みるよむ体験する アートを楽しむブックリスト」
「アートって楽しい!みるよむ体験するためのブックリスト」
- ⑦ 石神井図書館だより
- ⑧ 石神井図書館団体貸出実績
- ⑨ 読書週間事業「心に残る一文」ブックリスト・館内マップ
- ⑩ (直近のイベントちらし) 『檀一雄生誕110年記念講演会』 『わくわく探検隊』 『石神井公園野鳥観察会』 『”乳がん”ってどんな病気?』
- ⑪ アンケート
- ⑫ 連絡カード

6 次第

- ① 石神井図書館長挨拶
- ② 図書館職員紹介
- ③ 図書館事業説明
〔1部〕
 - ・一般サービス事業
質疑応答
 - ・児童サービス事業
10分休憩〔2部〕
 - ・学校支援事業
質疑応答・意見交換

石神井図書館利用者懇談会 会議録

1 石神井図書館長挨拶

それでは定刻となりましたので、はじめさせていただきますと思います。

これから『練馬区立石神井図書館 令和4年度 図書館利用者懇談会』を開会いたします。

本日はお忙しい中ご参加いただき、誠にありがとうございます。

石神井図書館は株式会社図書館流通センターが運営する指定管理館となり、今年度で3年目となります。

本日は「地域とのつながりから石神井図書館を考える～これからの図書館サービスについて」と題しましてお話をさせていただきます。第1部として石神井図書館で実施している事業の中から、地域連携に関わる事業について一般、児童サービスそれぞれについて報告させていただきます。2部では地域連携事業として重要な位置づけにあります「学校との連携」について報告させていただきます。

それぞれの報告の後に本日までご出席いただきました地域のみなさま、図書館を利用されている団体のみなさま、近隣施設の方々からご意見をいただく時間とさせていただきます。

11時30分までの短い時間ではございますが、最後までよろしくお願い申し上げます。

2 図書館職員紹介

館長 館長代理3名

3 懇談

図書館 【地域連携事業についての報告】

石神井図書館はお手元の『練馬区立図書館ビジョン～これからの図書館サービスのあり方～』の基本理念「情報拠点として 区民に役立ち 頼りにされ愛される図書館」に基づき、区民の皆様や地域が抱える課題解決のお手伝いや、区民の皆様と協働する地域に根差した図書館サービスを展開することで、地域とともに歩む図書館を目指し、様々な世代への読書支援と情報発信の充実を図っていきたいと考えています。

まず昨年度後半から今年10月までに行った一般・児童・青少年の事業の中から、地域連携に関する事業について報告致します。

石神井図書館では大きく3つの柱で地域連携の事業を考えております。

- ①近隣施設、ボランティアの方々等との連携
- ②地域で活躍する方を講師に迎えて講座やワークショップを実施
- ③地域情報の発信：地域の魅力や生活に役立つ情報を発信する。

まず、一般事業における地域連携についてご報告致します。

①近隣施設との連携について

当館は、この部屋を出たところにあります「地域資料コーナー」におきまして、近隣施設であります「練馬区立石神井公園ふるさと文化館」「都立石神井公園」「ちひろ美術館」のコーナーを設置しています。それぞれに関連した資料を置いており、基本的な情報を得られるようになっていきます。またそれぞれの館で開催している展覧会の関連展示等を行っています。

「練馬区立石神井公園ふるさと文化館」との連携事業として、地域資料コーナーでは現在 11 月 6 日まで開催している『練馬といえば！大根～練馬大根いまむかし』展の関連展示を行っています。

その他、ふるさと文化館には、石神井ゆかりの作家について調べる時に役に立つ調べ方ガイド「石神井ゆかりの作家パスファインダー」を作成する際や、当館で活動していらっしゃる練馬ふるさと紙芝居サークルが制作する紙芝居の絵の時代考証等でご協力頂いています。こちらの紙芝居はふるさと文化館が発行している『ねりまのむかしばなし』をもとに制作しています。こちらの紙芝居は図書館にも所蔵しています。うしろにも展示しておりますので、後程ご覧ください。

「石神井ゆかりの作家パスファインダー」とは、昭和 20 年～30 年代に檀一雄を中心に、石神井界隈に居を構え、文学的交流を繰り広げた作家たちを取り上げており、昨年度は生誕 100 年を迎えた五味康祐、今年度は生誕 110 年を迎えた檀一雄を取り上げて作成しております。配布資料の中のこちらが石神井ゆかりの作家パスファインダーになります。中に練馬区内の図書館に所蔵している著作のブックリストをはさんでいます。また今年の 1 月から 3 月にふるさと文化館で開催されておりました庄野潤三展では、練馬区立図書館で所蔵している本のブックリスト作成のご依頼を頂き、当館で作成し、展覧会会場と図書館で配布致しました。

また石神井文士の中心的存在であった檀一雄が今年生誕 110 年を迎えましたので、本日お越し頂いているふるさと文化館の学芸員でいらっしゃる山城さんに講師をお願いし、来る 3 日に講演会を実施致します。こちらの講演会は予約開始 3 日間くらいで定員に達してしまっているのですが、配布資料にご案内のちらしを入れておりますので、ご覧ください。

次に都立石神井公園サービスセンターと連携しまして、今年度からの試みとして、石神井公園自然観察会を実施致します。図書館で専門家の講座・資料提供を実施し、実際に公園で講師の案内で観察会・散策を行うというかたちを確立させていきたいと考えています。地域の大きな魅力のひとつである石神井公園の豊かな自然を色々な角度から知って頂けるよう考えていきたいと思っています。第一弾として今月の 26 日に野鳥の観察会を実施します。前半、東京

都公園協会の野鳥の専門の方に図書館で講義いただき、後半は実際に野鳥誘致林など普段は入れないところを含め、観察する予定です。配布資料にちらしが入っておりますので、ご覧ください。こちらもすでに定員に達しております。

また6月の環境月間の際には、石神井公園が行っている多様性保全の試みについて紹介するパネルを公園センターに作成頂き、館内に展示しました。また地域資料コーナーでは、毎月公園センターが作成している月毎の見どころがわかるマップを配布しています。

ちひろ美術館との連携事業としましては、まず地域資料コーナーでは、現在美術館で開催している展覧会「くらし、えがく。ちひろのアトリエ」の関連展示を行っています。また絵本作家・いわさきちひろさんのご子息であり、現在安曇野ちひろ美術館の館長をいらっしゃる松本猛さんをお迎えし、昨年12月には絵本の歴史に関する講演会を実施致しました。また今年度もちひろ美術館で実施していた展覧会「江戸からいまへ 日本の絵本のあゆみ」に合わせて、日本の絵本の歴史にお話をしぼり講演をして頂きました。石神井図書館を本会場に講演会を実施し、貫井・南田中図書館に ZOOM で配信するという試みも実施致しました。

その他美術館と図書館の連携で、ちひろ美術館と練馬美術館、当館・貫井・南田中図書館 3館でブックリストを作成しました。配布資料の中のこちらが「みる よむ 体験するアートを楽しむブックリスト」です。美術館の学芸員と図書館員で、練馬区の図書館に所蔵している本の中から3つのテーマ「美術館を楽しむ」「読んで楽しむアート」「アートを楽しむ」で、本を選定しました。最終ページにはリストの中から、特に学芸員がおすすめする本の書影を載せています。

また10月1日パークサイド石神井団地で開催されました、練馬区協働推進課主催のつながるフェスタに美術館2館と図書館3館で参加し、ブックリストで紹介した本を会場に展示しました。以上がちひろ美術館との連携です。

その他の連携事業としましては、石神井氷川神社で5月に開催された「井のいち」や8月に開催された「ちやが馬七夕」に本の展示やおはなし会などで参加させて頂いています。図書館でもイベント当日に展示した本を特集展示することで、当日参加できなかった方にも本を見ていただけるよう、また地域で行われているイベントに興味を持っていただけるよう工夫しております。

また練馬放送との連携企画として、インターネットラジオ「VOICE OF HEART」(土曜日 16時～)という番組で、毎週本の紹介や図書館からのお知らせを放送する「ねりほんプラス!」というコーナーに石神井図書館のスタッフも参加し、テーマに合わせたおすすめの本を紹介しています。

最後にボランティアの方々との連携につきましては、今年度もコロナの影響で計画しておりました高齢者施設のよみきかせについては施設への訪問が難

しいという現状があり、残念ながら実現しておりません。状況を確認しつつ、実現に向けて調整していきたいと考えております。

②地域で活躍する方を講師に迎えて講座やワークショップを実施

当館では、地域で活躍する幅広い分野の方々を講師に迎え、講座やワークショップを実施しております。この1年間で実施した事例を5件報告致します。

昨年11月「野菜づくりの基礎知識」では、農業体験農園のパイオニアである加藤農園の園主による野菜づくりの基礎に関する講座を実施しました。おいしい野菜の条件にはじまり、土壌づくりから、品目ごとの野菜の育て方にいたるまで幅広い基礎知識の解説があり、満足度の高い講座となりました。(23名)

2年3月「西洋美術に親しむための基礎知識」では、練馬区在住の美術史家を迎え、西洋絵画を鑑賞する上で、知っているとより楽しめる基礎知識を学べる講演会を行いました。絵画の主題の意味や制作の背景、キリスト教の聖人や神話の神々のアトリビュート等をレクチャー頂きました。とてもわかりやすく参考になったと大変好評を得ました。(30名)

6月「<サウンドスケープ>がひらく 豊かな世界」では、石神井地域で活動されている日本のサウンドスケープ研究の草分け的存在である方を講師に迎え、サウンドスケープとはどのような考え方なのか、またその考え方に基づく日本における感性文化等についてお話頂きました。(24名)「音の世界観が広がった。」など、新しい発見が多い講座として好評でした。

7月には、練馬区俳句連盟会長を講師に迎え、「俳句づくりの基礎知識」を実施しました。俳句の基本形やルール、練馬区ゆかりの俳人についての解説があった後、参加者が実際に句を作成し、講師により特選1句、入選5句が選ばれました。また先生が参加者の俳句を1句ずつ選び、館内に講座後1か月ほど展示しました。

7月末には「ちやが馬づくり」のワークショップを実施しました。練馬で古くから七夕行事に行われてきた、茅で馬を作る風習“ちやが馬づくり”を体験する講座で、石神井氷川神社の宮司でいらっしゃる奥野さんと権禰宜(ごんねぎ)の方に扱いやすい紙紐を使用して、ちやが馬の作り方を教えていただきました。初めに、ちやが馬について写真などの資料をまじえて説明頂き、ちやが馬は雄雌ありますが、雄の作り方を順を追って教えて頂き、2時間ほどで全員完成することができました。参加者からは「地域の伝統文化について学べる機会はとてもよい」という声等をいただき、こちらも参加された方の満足度の高いワークショップとなりました。(30名)

以上が、地域で活躍する様々な分野の方によるイベントの事例報告になります。いずれも評価の高いイベントとなっており、続編を望む声が多い事業です。

③地域情報の発信：地域の魅力や生活に役立つ情報を発信

区の様々な機関との連携で生活に役立つ講座を実施しています。その際より理

解を深めて頂けるよう、必ず図書館に所蔵する関連本を展示し、貸出しをしています。

たとえば2月には「年金と60歳からの働き方」と題して、日本年金機構練馬年金事務所の職員を招き、4月に行われた法改正や年金支給額基準等の変更点について解説いただき、60歳代からの働き方等について考えるための講座を行いました。今後の予定といたしましては、今月の19日にオンライン講座「乳がんってどんな病気？」を実施いたします。練馬区健康部と順天堂練馬病院で共催して行うもので、当館は視聴会場となります。こちらにも配布資料に入っておりますちらしをご覧ください。その他 地域包括支援センターと連携した介護に関する講座や地域文化部協働推進課との協働でつながるフェスタの展示、白百合福祉作業所との連携をさせて頂きたいと計画しております。

また、地域情報の発信として、区の様々な取り組みの情報を図書館の関連する分野の書棚で、積極的に発信しています。例えばこちらの「乳がんってどんな病気？」の講座に関連して、書棚の側面で関連本の展示と共に、健康部健康推進課作成の「乳がん検診実施医療機関マップ」の配布をしたり、育児関連の本が並んでいる書棚に、練馬区の子育てに役立つ情報を得られるサイトを紹介した「石神井図書館館内ガイド 子育て編」や子育て支援課作成の子育て応援パンフレットを配布したり、「老年医学」の本が並ぶ棚では、高齢施策担当部が提案するフレイル予防の秘訣に関する掲示を行なうなど、本と情報が関連するかたちで区の情報を発信するよう努めています。

先ほどお伝えしました2階の地域資料コーナーでは、現在1~2か月ごとに練馬区について多角的に知識を深められるよう様々なテーマで展示を行っています。2月ねりまの名誉区民で、101歳ながら今もなお新作を発表し続けている洋画家の野見山暁治氏に関連する図書を展示。ちょうど展覧会を開催していた時期で、関連記事なども一緒に掲示しました。

4月3年ぶりに開催した「照姫まつり」に関連した資料を展示しました。過去のパンフレットや写真等もあわせて紹介しました。

5月には、先ほど連携のところでお話しました氷川神社で5月に開催される「井のいち」関連として、井のいちのフリーペーパーなどの資料を展示しました。7月には、「地域の歴史を知ろう」と題して、練馬区の歴史や昔話に関する資料を展示しました。その際先ほどご紹介しました、練馬ふるさと紙芝居サークルの活動の紹介と制作した紙芝居を展示しました。9月には「石神井公園の自然」と題して、石神井公園の自然や生物に関する本を展示しました。

現在は館内全体展示「心に残る一文」に関連して、先ほどもふれました生誕110年を迎えた檀一雄関連の著作を「心に残る一文」と共に紹介しています。

1階から2階の階段の壁を「階段ギャラリー」と題して、主に地域の魅力や地域を知るをテーマにパネルを展示しています。現在は11月3日に実施します「檀一

雄生誕 110 年記念講演会」と館内の全体展示に合わせて、「石神井に集った文士たちの展示」を行っています。

過去の事例としましては、昨年 11 月には先ほど紹介しました「野菜作りの基礎知識」の講演会のあわせて練馬区の農業体験農園のパイオニアである加藤農園の畑や野菜の写真と農業体験農園の説明パネルを展示しました。

今年 2 月 3 月には、スタッフが手分けして撮影した石神井公園の自然・生物に関する写真パネルを展示しました。4 月 5 月には、石神井の今昔と題して、練馬区所蔵の石神井地域の昔の写真とともに、撮影場所を特定し、同じアングルになるように撮影した 2022 年現在の写真を展示しました。併せて、いくつかの年代別の航空地図も展示し、写真の場所と比較できるように展示しました。

6 月には先ほど石神井公園との連携のところでお話した公園センターが作成した石神井公園の生物多様性保全の取組パネルを展示しました。8 月にはさきほど連携のところで紹介しました「ちやが馬七夕」の様子がわかる写真パネルを石神井氷川神社のご協力で展示しました。

9 月には石神井公園の自然第 3 弾として、スタッフが撮影した石神井公園に四季折々に咲く花の写真を展示しました。

以上のように、様々なテーマで写真パネルを展示し、地域の魅力を知っていただく、再発見していただくよう皆でアイデアを出し合い、地域の皆様にご協力頂きながら進めております。

最後に石神井図書館からの情報発信として、隔月で図書館だよりを作成、配布を行っています。こちらで先ほど事例を報告しました地域で活躍する講師の方にイベント後にインタビューした記事やお向かいの白百合福祉作業所のエントランスで自主生産品を販売しているワゴン「しらゆりマルシェ」について取材させていただいた記事等、地域の情報と図書館の資料を関連させた記事などを載せています。こちらも配布資料に入っていますので、ご覧ください。以上が地域連携の一般の事業に関する報告になります。

ここからは児童担当が児童と青少年の事業における地域連携について報告致します。

①まずはボランティアの方々との連携について 4 つの事例をご報告いたします。

1 つ目の事例として、石神井図書館では、ブックスタートを毎週水曜日と第 2 第 4 土曜日に行っております。

練馬区内の赤ちゃんに本を届ける活動で、赤ちゃん向けの 2 冊の本をプレゼントし、本のよみきかせや手遊び、区内施設の利用案内なども行っています。

コロナ禍にあってもブックスタートに参加されるお母さん、お父さんは多数いらっしゃるし、赤ちゃんの手遊びをしたり、おはなしを聞いたり、楽しく過ごしている様子でした。

今年、練馬区ブックスタート事業が20周年を迎え、今まで配布したブックスタートの本と、ブックスタートボランティアの方からいただいた、一言メッセージを展示いたしました。ブックスタートのボランティアの方は、石神井図書館の改築前から活動していただいている方も多く、赤ちゃんとお母さんに真摯に向き合い、活動されています。

2つ目の事例として、よみきかせ・おはなし会について報告いたします。石神井図書館ではあかちゃんおはなし会を第1・第3金曜日の10時30分～、幼児から低学年向けのよみきかせを第3を除く水曜日の午後3時～、おはなし会を第3水曜日の午後3時～行っております。

毎回、ボランティアの方々と相談しながらプログラムを決めさせていただいております。

その都度ボランティアの方々が披露される絵本はもちろんですが、様々な手遊びや素話等、私たちも色々な刺激を受けております。

3つ目は布のえほんについての事例についてです。

石神井図書館では第2第4火曜日に布の絵本の会こぶしの方々が活動されています。図書館に所蔵する資料として、布の絵本を毎年5冊ずつ制作されています。昨年制作された布のえほんを会議室の後ろに展示させていただいております。ぜひご覧ください。

また、昨年の石神井図書館だよりでは、会の成り立ちや活動について伺い、記事にさせていただきました。配布資料がございますので、ご覧ください。

最後は、ねりま子どもと本ネットワークの事例についてご報告いたします。

先月10月25・26日には石神井小学校でねりま子どもと本ネットワーク略してNCBNの方のご協力のもと本の探検ラリーを実施しました。探検ラリーは、3段階に分かれた問題をお子様が選び、その問題に関する本を読み、その本の中から答えを導き出すというものです。どちらも様々な本との出会いと読書への興味をもってもらうための活動です。こちらが、その時の様子です。問題に正解するとスタンプカードにスタンプが押せます。「もう少し読みたい」「この本の続きがきになる」とお子様が言っている様子が印象的でした。

続いて近隣施設との連携についてご報告いたします。

ちひろ美術館との連携では、昨年の8月に、ちひろ美術館・東京、練馬区立美術館、石神井図書館、貫井図書館、南田中図書館の共催で、「ぐるりん絵と本スタンプラリー」を行いました。スタンプラリーは、図書館3館と美術館2館を巡るマップを掲載した印刷物を作成・配布し、各美術館の展覧会と各図書館の展覧会関連展示を巡っていただいた利用者に施設に設置したスタンプを押してもらい、全館分のスタンプが揃ったら菓子をプレゼントするという内容で、参加した子供たちは嬉しそうにスタンプをもらっていました。また、美術館を楽しむためのブックリストを作成し、図書館が所蔵している美術館を楽しむために参考となる本を選びま

した。

さらに、ちひろ美術館の学芸員には昨年9月に中高生を対象にした、「ちひろ美術館のお仕事講座」という仕事をテーマにした講座で学芸員の仕事についてもお話いただき、参加した子供たちからは、「どうやったら学芸員になれるのか」など、具体的な質問がかなり出ていました。石神井図書館では、「お仕事講座」として仕事という切り口からお話をさせていただく講座を定期的に行っており、今後も練馬区で活躍される方を招いて仕事についてお話いただく予定です。

都立石神井公園サービスセンターとの連携では、今年6月に、都立石神井公園サービスセンターと共催で、蝶の研究者を講師に招いた、「おしえて！ちょうちょ先生 バタフライガーデン観察会」を行いました。前半は会議室で「ちょうが教えてくれること」と題し、蝶の不思議さ、命の大切さの講義を、後半は石神井公園内にある「蝶々園」で、解説を交えながら蝶を観察しました。会議室では蝶の標本や芋虫やさなぎの観察、公園では実際に飛んでいる蝶を収集して観察を行い、参加した子供だけでなく親も蝶への関心が高まり、終了後に講師から芋虫やさなぎが希望者にプレゼントされると、大事そうに持ち帰る様子が見られました。

②続いて地域で活躍する人や地域に触れるイベントの3つの事例を報告いたします。

今年の5月、石神井図書館では本のリサイクル市を行い、イベントの目玉として「リサイクルえほんのおはなし会」を行いました。地域で活躍する、おととことばこ氏をお招きして、リサイクル本によるおはなし会を開催し、参加した方に読んだ本の配布も行うというイベントでした。アコーディオンによる伴奏や自分の声をパソコンで重ねて、不思議な世界を作り出すなど、音楽とおはなし会を融合させた、大人も子供も楽しめるイベントになりました。

10月30日には「みんなあつまれ！人形劇」というイベントを行い、地域で活躍されている、「びっくり箱」「モモ」の二組の人形劇団の方々に演技いただきました。石神井図書館では、毎年ねりま人形劇サークルの方に依頼して、人形劇を上演していただき、大変好評いただいております。今回も楽しみに来てくれる子供たちがたくさんおり、楽しいイベントになりました。

今度の日曜6日に行う予定の、石神井わくわく探検「こども歴史散歩 石神井城を知ろう！」も郷土歴史研究家を講師に招き、前半は会議室で石神井城の歴史の講義、後半は石神井城址及びその周辺を見学し、解説するというイベントを行います。

前半は会議室での座学、後半は屋外での体験講座というスタイルは先ほど紹介した「おしえて！ちょうちょ先生 バタフライガーデン観察会」と同じ構成になっており、今後も石神井わくわく探検として歴史編・自然観察編を2本の柱とした、子供たちに地域の歴史、自然を知っていただくためのシリーズ講座にしていきたいと考えております。

③続きまして、子供たちに地域を知っていただく情報発信の事例をお話しいたします。

石神井図書館では、今年、子供たちがより地域の事を知ったり調べやすいよう、大人の本とは別に児童室に新しくこどもちいきコーナーを設けました。今まで大人の本と一緒に並んでいたために、子供には探しづらかった地域の本や、石神井公園で紹介されている花や生きものの情報誌を資料として置かせていただくなど、より地域を身近に感じてもらえるよう資料の収集を進めたいと思います。

また、小学生向け地域資料が不足しているということから、昨年度からの事業として石神井・大泉・関町・貫井・南田中図書館の合同で「調べ学習用地域資料カード」という加除式のカードを作成しております。このカードは、近隣の歴史や施設、自然などをテーマとしてA4用紙に出来るだけ分かりやすく紹介し、調べた本などを記載することで調べ学習の助けにもなるようにと考えたものです。近隣の小中学校にも配布し、好評いただいております。今年も新しく作成したカードを追加する予定です。こちらも後ろに展示していますので、ご覧ください。

また、今年は中高生向け事業として新たに、「中高生集まれ！」という定期イベントを立ち上げました。図書館離れが進んでいる中高生へ、来館し親しんでもらうきっかけを作り、放課後の居場所のひとつとしての図書館を提案するという趣旨のもと、月に1回第3水曜日におこなっております。図書館の本の検索の仕方や、展示の飾りづくり、読書会など毎回図書館や本に関わることをテーマに行っており、人数は少ないながらも定期的に参加してくれる子供たちがおります。魅力的な会になっていくよう担当者と試行錯誤しております。

以上が児童と青少年の事業に関する報告となります。

第1部が終了となりますが、質問はありますでしょうか？

利用者 司会の方へお願いします。集まった方々の紹介をしていただけますでしょうか。このパスファインダーですが、ご協力させていただいていますが、10月25日発行となっていると思うのですが、まだ館の方にいただいております。お送りいただければと思います。

図書館 いらっしゃっている方のご紹介については後ほど質疑応答と意見交換の際にご紹介頂こうと思っております。

利用者 青少年のイベント、参加者が少ないと。どこでもYAサービスが振るわない状況があるのかなと。

自分に良いアイデアがあるわけではないが、青少年がうまく集まる工夫ができるのではないかと思います。その辺は今後どのように考えていますか？

図書館 こちらは当館としても課題と感じています。
2名ほど固定で参加してくれる子がいます。学校を通じてチラシを配布したり、色々中学生の興味のあることを伺っているのですが、なかなか時間がない、学校の課題だけでも大変と仰っています。今後も地道に投げかけていこうと考えていま

す。

利用者 ボードやノートを使って子供たちに意見を書いてもらうなどはどうでしょうか。

図書館 そうですね。まずは今後どういったことを求めているのかという事を知って、図書館がどういうふうに役立つか子供たちに具体的にアピールしていきたいと思っています。職場体験に来てくれる子供たちにも案内したりしています。

利用者 参加型のものでしょうか。

図書館 そうですね。毎回違うテーマで行っています。今後は、ボードゲーム等も考えています。部活動等で忙しいこともあるので、曜日時間なども検討していきたいと思っています。

図書館 これから第2部を始めさせていただきます。

第2部では地域連携事業として重要な位置づけにあります、学校との連携についての事例を6つご報告させていただきます。

まず一つめの事例としまして、学校支援についてですが、今年度も支援校の学校からは団体貸出や図書館見学、職場体験等多くの依頼を受けております。

はじめに団体貸出についてお話いたします。

団体貸出は、石神井図書館で読書活動の支援をしている支援校から、希望されたテーマに沿った図書を貸出するものです。配布資料の団体貸出利用冊数表をご覧ください。こちらは、令和3年度4月～令和4年10月までの各支援校の貸出利用冊数をグラフにしたものです。

新学期や春と秋の読書週間では多くの学校で利用されていることが分かります。今年度は、それ以外にも利用冊数が増えている学校があり、読書活動に活かされていることと思います。

次に職場体験についてです。

今年度はこれまでに中学校5校・高校2校の生徒による職場体験がありました。職場体験では、図書館を身近に感じてもらうとともに、将来の進路について考えるきっかけ作りとなるよう、図書館スタッフと同じ仕事を体験していただいております。本の配架、予約された本の引き抜き、本の修理や本の仕分け作業など、図書館のイメージとは違う肉体労働の部分に驚く生徒も多くいます。

どの生徒も、表側だけでなく普段見ることのない図書館の仕事についていろいろな気づきや感想をその後手紙にして送ってきてくださいます。

次に図書館見学と出張図書館見学についてお話いたします。今年度は図書館見学2校、出張図書館見学2校を実施いたしました。

通常の図書館見学は学校の生徒が図書館に来館し、館内を図書館員が案内しますが、今年度は、コロナ感染防止対策の観点から、密になって見学するのをさけるため、学校まで図書館員が赴いて行く、出張図書館見学を実施いたしました。学校に伺った図書館員が、プロジェクターに石神井図書館の映像を投影しながら館内

案内、生徒からの図書館への質問に回答する質疑応答などを行いました。

こちらが、出張図書館見学を行ったときの様子です。生徒たちは、舞台上に映し出された大きな画像を真剣に見ていました。最後はおたのしみとして、図書館スタッフがエプロンシアターやよみきかせを行いました。

次に出張ブックトーク・出張おはなし会の事例について報告いたします。

石神井図書館では毎年読書旬間の期間によみきかせ、ブックトークを行っています。今年度は、石神井小学校で3、6年生にブックトーク、4、5年生に本の探検ラリーを行い、1、2年生にはよみきかせを今週行う予定です。ブックトークでは3年生は「なぞ」、6年生は「時間」をテーマに図書館員が選んだ本を子供たちに紹介しました。どちらも集中して話を聞いており、トークが終わると紹介した本を手にとっている様子が印象的でした。

続いてその他の学校との連携の事例を報告いたします。

毎年、石神井図書館では、石神井中学校家庭部の生徒に依頼しておはなし会を実施しております。

生徒たちは、コロナ禍の限られた練習時間の中で大型絵本や紙芝居のよみきかせ5作品を披露してくれました。このイベントの参加者から大変好評であったのはもちろん、関連本がほとんど貸出されたことや、石神井中学校家庭部の生徒からも、子供との交流を楽しんでいる様子が伝わってくる良い会となりました。

最後に第6回図書館を使った調べる学習コンクールについてです。

調べる学習コンクールは、小学生、中学生、高校生を対象に、図書館の本を使って調べた作品を募集し、部門ごとに審査を行い、優秀作品を表彰するものです。年度の初めに支援校へは「図書館を使った調べる学習コンクール」の参加についてご案内させていただいております。また、審査会へのご協力もお願いしており、今年度は4校の先生方が審査会にご協力くださいました。この調べる学習コンクールは、石神井図書館をはじめ平和台・大泉・関町・貫井・南田中図書館6館合同事業になります。石神井図書館は第4回から参加しており、昨年度は石神井図書館からの1作品が全国コンクールに出品され、奨励賞を受賞しました。今年度は小学生10作品の応募がありましたが、先月審査会が行われ、石神井図書館からは2作品が全国コンクールに出品される事になりました。今週末には、こちらの会場で表彰式を行う予定です。

最後にこれからの図書館サービスとして、12月から皆様にご覧頂けるようになります。「これからの図書館構想」について、この機会に少し先がけまして、紹介させていただきます。今までの図書館ビジョンをさらに発展させたものになりますが、練馬区立図書館はこれからの10年間こちらの構想をもとにサービスを展開します。お手元に配布しました「これからの図書館構想」と書かれた資料になりますが、次の4つのコンセプトで構成されています。

コンセプト1：世界の知と出会い、学びを豊かにする

コンセプト2：練馬の文化を継承・発信する

コンセプト3：知が交わり、創造を生み出す

コンセプト4：情報へのアクセスを支援する

石神井図書館でも、これらの構想をふまえ、これからも「地域を知ることができる」「地域の魅力を再発見できる」事業を心がけ、イベントや展示を行ってまいります。また図書館は、日本十進分類法に基づいた0～9の数字で始まる分野を表す数字で分類された本を入口に多種多様な世界に開かれた場であると考えています。多面的な切り口で本やCDを展示したり、イベントを行うことで、多様な世界や文化との思いがけない出会いを楽しみ、知識を深めることができる場となるよう様々な事業に取り組んでいきたいと思っております。

最後にご紹介したいのは、現在読書週間の期間なのですが、今月27日まで館内全体展示として、「心に残る一文」と題して、入口正面の特集展示コーナーと各分野、各コーナーの棚のところで、館内全体展示を行っています。

今年はさまざまな分野の本の中からスタッフおすすめの「心に残る一文」を紹介することで、多様な本に出会って頂けるよう本を展示しています。今年は生誕・没後と節目を迎える作家が多く、入口正面の特集展示コーナーでは「追想 日本の作家」と題し、8名の作家の著作を心に残る一文と共に紹介しています。児童の特集展示コーナーでは「むかしむかしおはなし」と題して、昔話の印象的なフレーズを抜き出し、クイズ形式で本を紹介しています。こちらは各分野の担当スタッフがおすすめしている本のブックリストと展示場所を示した館内マップになっていますので、ぜひ一度こちらの冊子を片手に館内を巡っていただければと思います。

これからも地域とともに歩む図書館を基底に、本を通して多様で豊かな世界と出会える事業を展開してまいりたいと思っております。報告は以上となります。

それではここからは、みなさまとの意見交換の時間とさせていただきます。ご発言に際しましてですが、発言なさる方はお話いただく前に団体名をおっしゃってから、ご発言いただきますよう、お願いいたします。また、一人でも多くの方にご発言いただきたいため、大変恐れいたしますが、ご発言はおひとり様3分程度とさせていただきます。皆様との懇談会が有意義なものとなりますよう、ご協力をよろしくお願いいたします。

また、さきほど冒頭でも申し上げましたが、本日のテーマは「地域とのつながりから石神井図書館を考える～これからの図書館サービスについて」でございます。

そのため、館独自で答えられないような、例えば図書館システムに関わる内容など、区立図書館全体に関することはお答えできない場合があります。その際は、練馬区立図書館を総括しています光が丘図書館に、その内容を伝えます。後

日、光が丘図書館と調整して、ホームページで回答させていただく予定です。

また、よろしければ、11月19日（土）午後2時～4時に行われます、光が丘図書館での懇談会にご参加いただいて、そちらで質問していただければ、より詳しい回答があると思います。

利用者 団体貸出について。大泉東小学校が突出して多いのはなぜでしょうか？石神井南中が少ないのはなぜですか？

図書館 大泉東小学校は毎学期、学級文庫として貸出があります。現在全学年22クラスあるので、1クラス50冊ずつの貸出だと貸出冊数が非常に多くなります。

また、利用が少ない学校は借りた本の管理が大変という声もあり、利用を躊躇される学校もあります。

利用者 図書館で様々なイベントをしていることを知りませんでした。石神井地域でないところに住んでいるので、イベントの告知がもう少しわかるといいと思います。

こちらで紙芝居を作成しています。地域で上演するということがまだ1度しかありません。8月のちやが馬まつりの時に参加させていただいたのが初めてでした。機会があったらお招きいただければと思います。

利用者 先程ブックスタートの中で、手遊びなどをなさっているとうかがっていますが、今年初めてオリジナル作品で「おべんとうばこのうた」の手遊びを布の絵本の世界で再現しています。ちょうど手遊びと重っているので、色々情報を教えていただければうれしいです。

利用者 パスファインダーもそうですが、明後日（3日）の講演会など色々な点で石神井図書館さんともご協力いただいて、連携事業というものが成立できるように色々模索をしているところです。

博物館が扱うジャンルというのは広く、色々なジャンルがありますので、ぜひ今後ともジャンルのバランスをどのように設定されているのかということもあると思います。継続的にご協力を進めながら、みなさんのご意見もいただいて地域に根差した博物館になるよう目指していきたいと思います。

利用者 17館ある児童館の館長のなかで、おそらく図書館司書の資格を持っているのは私だけだと思います。先程、中高生のお話もありましたけれども、児童館の方も中高生事業には力をいれているところです。併設の学童クラブでは団体貸出でお世話になっております。親に図書館に行くと言って児童館に来ている子もいます。そういったところでは、見えない連携がとれているのかなと思います。

利用者 石神井図書館には、第3水曜日4人で伺っています。幼児中心の会になっているので、もう少し大きな子たちの会になればいいなと思っています。月1回ですが、もう少し大きな子たちも来られる良い方法はないか考えています。月1回だけでなく何かイベントに参加できればいいなと思っています。

利用者 春に井のいち、夏にちやが馬七夕。神社としては10月の大祭ですが。大勢の人が集まる、神社とはそういうところですが普段は静かで落ち着いた場所です。春の井のいちとちやが馬七夕は良いイベントとして評判をいただいています。夏のちやが馬七夕では、ふるさと紙芝居の方と縁をいただいて良かったです。初めての試みでしたがとても素晴らしかったです。

神社ではいろんなイベントをやっています。森の中で本を読もうというのは多分うちだけではないでしょうか。図書館の協力があってこそイベントだと思っています。神社にはいろいろなことを伝えていく役割があると思っています。

こんなことがやってみたいということがあれば言っていただきたいと思います。単発でやることも可能です。

利用者 今年ブックスタートは20周年をおかげさまで迎えることができました。活動としては毎週水曜日と第2、4土曜日ほんの30分くらいの時間ですが皆さんよく来て下さいます。多い時は15、6人くらいの参加があります。自治体によっては全然行われていない自治体があったり、本を手渡しするだけの自治体もあるが、練馬区は時間を設けていただいて、わらべうたの紹介、本の紹介とかあかちゃんおはなし会とかまめにやっていただけています。

利用者 お願いがあります。連携で催し物をやっているが結果的にTRC館5館が中心になっています。練馬区12館全体が連携してやってほしいと思います。サテライト的なことに関しては他の館でも全館がやれるようにしてほしいと思います。

利用者 地域連携事業、毎回来るたびに充実してうれしく感じています。ボランティアで高齢者施設の訪問をやってきたのですが、2年半中断している状況です。コロナ禍で再開できるか見通しが立たないので、やり方を工夫するなり、こちらの図書館でやれるような事業としてなにかできないか考えているところです。

YAサービスなどの話でも若い人も児童も含めて少子化のこともあるので昔ほど勢いがなくなっています。高齢者もよみかせということだけでなく、高齢者サービスとして取り組んでいただけるように、また私たちがボランティアとして協力していきたいと思います。

利用者 地域に根ざした図書館でいろんな世代の方とのつながりがある事業をされています。わたしたちの仕事の一つでもある乳幼児健診であったり、そうしたところからブックスタートという事業を4か月の赤ちゃんの検診で今は全員の方に対しておすすめをしています。「ブックスタートに行ってみて」とどの方にもお伝えしています。子育て支援に関することだとか、小学校・中学校なかなか学校にいけないという親御さんからの相談も日々入ってきているような状況です。

利用者 図書館とはいつも連携させていただいてありがたく思っております。図書館だよりの白百合マルシェの紹介もありがとうございます。様々な事業をされていて、講座もコロナ禍の中、開催するにあたってご苦労があるだろうなというふうに

頭が下がる思いです。先程も講座をやってすでに（定員が）いっぱいです、というようなお話もあって、広報にも相当色々な知識があるのかなんて思い、うちにもその技術を教えていただければ嬉しいです。

福祉のことを地域の人にもっと知ってもらいたいということで、保育園と高齢者施設と障害者施設で連携をして福祉を学ぼうという講座を12月にやりますが、なかなか人が集まってくれないので、是非そういう技術も教えていただければ嬉しいです。図書館も地域に知ってもらうということで中高生あつまれ・職場体験などやられているということで、将来的には図書館でも福祉を学ぼうなど講座を開ければいいなと思っています。

よみかせを図書館の方から当館に来ていただいていたのですが、コロナで中止となりましたが、11月からボランティアさんの受入を再開したので、図書館のよみかせもぜひ再開に向けて準備を進めていけたらいいなと思っています。地域のつながりということで、この地域は小学校があって図書館があって、うちの施設、ふるさと文化館さんとか災害時、公立の施設がどういう役割をはたしているのか地域の人に知ってもらうというのは大切なことかなと思います。災害時の一時避難所として各施設がやっていることを情報共有できたらいいなと、それが地域の方たちの為になるのかなと思います。

図書館 みなさま多くの貴重なご意見ありがとうございます。災害時の役割につきましては、図書館も一時避難所となっております。図書館としても災害時に近隣の施設と連携できるよう考えておかなければと思っておりますので、一緒に考えていただければと思います。よろしくご意見致します。

図書館は地域に役立つ情報発信の場でもありますので、今後も図書館をご活用いただければと思います。

またこのような機会等を通して、皆様の交流の輪が広がることを嬉しく思います。今後ともどうぞよろしくご意見致します。

図書館 みなさんありがとうございます。引き続き図書館の運営にご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。本日は貴重なご意見をいただきありがとうございます。またのご来館をお待ちしております。冒頭にもお願いしましたが、アンケートにご記入いただきますよう、お願いいたします。お帰りの際に出口にて回収いたしますので、ご協力をよろしくお願いいたします。